

平成21年度 東三鷹学園三鷹市立北野小学校の学校経営について

東三鷹学園三鷹市立北野小学校長 高橋 京子

小・中一貫教育校「東三鷹学園」として、義務教育9ヵ年を見通した系統的な指導計画に基づき、3校の教職員が協働して実践にあたります。学校・家庭・地域が、それぞれの教育機能を十分に発揮し、人間力、社会力にあふれ、国際社会に貢献する児童の育成をめざします。東三鷹学園のマニフェストの実現に1年間かけて取り組みます。マニフェストを実現させ、義務教育9ヵ年に責任の果たせる学園になることは、「北野小学校」の教育目標の達成につながります。

東三鷹学園の教育目標

豊かな心を持ち、地域と共に生き、人間力・社会力にあふれ、国際社会に貢献する児童生徒の育成をめざす。

北野小学校の教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童に育てる。

・健康な子ども ○考える子ども ・思いやりのある子

学校力の向上

☆ 学力をのばします

- ① 新指導要領にそったカリキュラムを実施します。
 - 新学習指導要領の方向性を理解し、一貫カリキュラムの検証にあたります。
 - ・ 言語活動の充実
 - ・ 伝統や文化に関する教育の充実
 - ・ 体験活動の充実
 - ・ 理数教育の充実
 - ・ 道徳教育の充実
 - ・ 外国語教育の充実 等
 - 朝読書に年間通して取り組みます。講師と連携し、読書活動の充実を図ります。
- ② 授業改善に努めます。
 - 算数、外国語活動・英語活動は、打ち合わせの時間を確保し、学年体制、教科体制で教材研究を深め、指導にあたります。
 - 授業は単元単位で、計画を立て、評価を行い、成果の蓄積をはかります。
 - 指導要領改定の時数増に見通しをもって対応し、時数を確保します。
- ③ 個に応じる指導を徹底します。
 - どの授業でも、個に応じる指導を進めます。
 - 補充学習は学年単位で日を決めて、定期的に取り組みます。
 - 教室環境を整え、落ち着いた学びやすい環境にします。
 - ・ 子どもたちが日常目にする教室前面を特に整えます。



- ・体にあった机・椅子で、正しい座り方で座らせます。
- ・机の配置、座席も学びやすさを第一に調整します。

☆ 人間力をはぐくみます

- ① 学園としてアントレプレナー教育（起業教育）を進めます。
 - アントレプレナー教育の全体計画をもとに、総合的な学習の時間に位置づけて各学年で実施します。テーマは、「環境を守り、新たな価値の創出」。
 - 「ザ イーストホークス (TEH)」を中心に、中学生が主体となり、活動を進め、3 月には、保護者・地域のみなさんに、活動の報告ができるよう進めていきます。
- ② 体験を通して、心と体の健康づくりを進めます。
 - 新指導要領にそったカリキュラムに基づき体育の授業を進めます。
 - 学園として体力テストに取り組み、体力の二極化傾向を改善していきます。
 - 休み時間は児童を100%外に出し、遊ばせます。
 - 校庭全面芝生化に向け、芝生の校庭をいかした体力・健康づくりに取り組みます。
 - 日本の伝統や風習を学ぶ「日本を学ぶ」をカリキュラムにそって実践します。
- ③ ICTを日常的に授業に取り入れていきます。
 - 各学年にICTの機器を整備し、日常的な活用を図ります。
 - 一貫カリキュラムに基づき、支援員と連携し、活動を充実させます。



☆ 社会力をはぐくみます

- ① 異学年・異校種の交流活動を推進し、人間関係を深めます。
 - 中学生が母校を訪問する「ふれあい学習」を2学年で実施します。小学校4・5年生の音楽交流、小学校5年生の合同遠足、6年生の自然教室合同実など、十分な打ち合わせを行い、交流の充実を図ります。
 - 年間を通して縦割り班で清掃に取り組み、全校遠足・集会活動など交流の機会を設定します。
- ② 「ザ イーストホークス (TEH)」を中心に、学園の児童・生徒の意識をはぐくみます。
 - 「ザ イーストホークス」の会合を行事予定に位置づけ、定期的に設定し、「あいさつ運動」「エコキャップ運動」等、学園の活動をリードしていきます。
- ③ 保護者・地域の人々とかかわる環境づくりを進める。
 - 新しい連絡網のシステムに学園として取り組みます。
 - サポート隊の各教科・領域での教育活動への参加の機会を広げ、多くの方に参加していただける活動にしていきます。
 - 校庭の全面芝生化に伴い、芝生の維持管理を通して、児童・保護者・地域の交流が広がっていくよう企画・運営を進めます。



☆ 学園運営を充実させます

- ① 学校運営協議会、コミュニティ・スクール委員会の組織を活性化します。
 - 情報発信に努め、コミュニティ・スクール委員会の活動を理解していただけるようにします。
 - コミュニティ・スクール委員会事務局の公募を進めます。
- ② 小・中の教員が相互に連携し、学習指導・生活指導を進めます。
 - 算数・数学の交流は、時間割に位置づけ、確実に実施します。教科部会による授業研究を充実させ、授業の充実を図ります。
 - 小学校の施設も利用し、部活動を学園として進めます。
- ③ 学園運営委員会を機能させ、学園運営を効率よく進める
 - 学園運営委員会の調整機能を高め、効率の良く学園運営を進めます。

家庭力の向上

- ① 生活リズムの安定した家庭に
「はやね・早起き・朝ごはん」が基本です。特に「はやね」のできる子は、元気です。
- ② 食育への関心の高い家庭に
学校農園での活動を食育につなげていきます。給食へのアレルギー対応も継続します。
- ③ 子どもたちの話にゆっくりと耳を傾ける家庭に
土曜日の授業公開や、運動会での親子昼食ばかりでなく、各学級でも学習活動の保護者のみなさんの参加を呼びかけます。学校での様子を話題に子どもたちの話をたくさん聞いてやってください。
- ④ 子どもたちの家庭学習の習慣を応援できる家庭に
10分×学年をめどに家庭学習を習慣化させましょう。家庭学習の習慣のない中学生は厳しいです。

地域力の向上

- ① 地域行事を通じた地域コミュニティの拡大を
地域行事への中学生・小学校6年生のボランティアとしての参加を呼びかけます。保護者のみなさんも、地域の担い手として奮ってご参加ください。
- ② 六中学区としての活動の発展を
一北会の合同行事「親子 de ナイト」も3年目、多くの方の参加をお待ちしています。
- ③ 子どもたちの登下校の地域をあげた安全確保を
北野駐在さん、警察OBの方、地域の方々、たくさんの方が子どもたちの登下校を見守ってくださいます。連絡を密に取って進めるとともに、子どもたちからの挨拶を徹底させていきます。
- ④ 子どもたちを叱ってもらえる地域に
3校の校外での指導に共通性をもたせ、地域へも呼びかけをしています。子どもたちの校外での生活指導にも協力をいただきます。いけないことをしたのなら、どんどん叱っていただきます。